### 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

#### 届出概要

用途地域 商業地域、第1種住居地域 |昭和53年12月 開店

参考

閉店時刻を午後8時から午後9時に繰り下げる。それに伴い来客駐車場利用時間帯を午前9時30分 から午後9時30分までとする。また、駐車場の出入口を3箇所から2箇所に変更する。

(法附則第5条第1項) 届出事項 届出年月日 平成16年5月11日 店舗名称 名鉄パレ 河和店 2 知多郡美浜町大字河和字北田面 5 -店舗所在地 平成16年6月18日 3 変更をする日 変更前 届出事項 変更後 4 名鉄パレ 名称 株式会社 設 代表取締役社長 春木 代表者 住所 名古屋市熱田区神宮三丁目 6 - 3 4 備考 なし (1) 小 名称 株式会社 名鉄パレ 変更前に同じ 代表取締役社長 春木 代表者 秀夫 名古屋市熱田区神宮三丁目6-34 同 住所 備考 他3名 同 (2)店舗面積 3,155 m<sup>2</sup> 同 別紙図面のとおり 同 位置 車 台数 141 台 同 駐 別紙図面のとおり 位置 同 台数 92 台 同 (3)別紙図面のとおり 荷 位置 同 捌 面積 160 m<sup>2</sup> 同 廃 別紙図面のとおり 位置 同 棄 容量 同 21.5 m 午前10時(年間60日間午前9時30 開店時間 分、年間10日間午前9時) 同 閉店時間 午後8時(一部午後7時30分) 午後9時(一部午後8時) 午前9時30分(年間60日間午前9 午前9時30分(年間60日間午前9時、 (4)駐車場利用時間帯 時、年間10日間午前8時30分)か |間10日間午前8時30分)から午後9時30 分まで ら午後8時30分まで 2箇所 |出入口数|3箇所 出入口位置別紙図面のとおり 別紙図面のとおり 荷捌時間帯 |午前6時から午後8時まで 変更前に同じ 業態 総合店

- I 施設の配置及び運営方法関連事項
  - 1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮
  - (1) 交通に係る事項
  - ① 駐車場の必要台数の確保
  - ア 指針による算出

店舗面積	日来客数原単 位	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車時間係数	指針必要台数
3,155 m <sup>2</sup>	1005.35	15.70%	10 m	31.00%	2.00 人	0.79	61 台

 総駐車場台数
 (建業員等駐車場台数
 付帯施設駐車場台数
 来客用駐車場台数

 166 台
 25台
 0台
 141 台

評価

#### ② 駐車場の位置及び構造等

1 平面自走オペレーター無	2 平面自走オペレーター有	3 機械式駐車場	4 共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
3箇所	0箇所	0箇所	0箇所	77 台

ア 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

		测工一	- <i>~</i> 23 /1	<u>ノエ、田</u>	<u> </u>	<b>外</b> 上 [		·] /\ `	<u> </u>	/ / /		<u> </u>	人坦正性					
1	種	別	2	収容台数	5	11 台	步行者導線	非分	<b></b> 金	騒音	配慮	段	差の排除	排ガス配慮	無駄	浴ある駐車台 太な走行、駅 イドリング	注車待ち の排除	5ア
		出入	口数	道路積	刉	道路幅員	予測来台	車台	交差点	距離	住宅前出	八口	左折入庫	左折出區	Ē	駐車待み	ペース	判定
	東		<u>ا</u>	-		-	-		-	•	-		-	-		-		-
	西	1筐	脈	県道	1	8m	69		15	0m	0箇	所	双方向	双方向		5m		
駐	南な		:し	•		-	1		•	•	-		-	ı		-		-
車	北	な	<u>.</u>	-	•	-	-		-	•	-		-	-		-		-
場						混雑する	時期	月の	み配	備				,				

2	種類	種別 1 収容台数 16 台 歩行者導線 非分離 騒音配慮		配慮 .	段	差の排除	排力ス配属   無駄		谷ある駐車台数による 汰な走行、駐車待ちア イドリングの排除							
	l	出入口数	道路科	別	道路幅員	予測来台	車台	交差点	5.距離	住宅前出入	λП	左折入庫	左折出	出庫	駐車待スペース	判定
	東	なし	-		-	-		-	•	-		-	-		-	-
	西	なし	-		-	-		-	•	•		-	•		-	-
駐	南	南 1箇所 国道		8m	56		50	)m	0箇月	斤	双方向	双方	向	0m		
車	北	なし	-							•		-	-			-
場 警備員の配置 1年を通して混雑する時								月の	み配	開						

(a)	種	別	2	収容台数	7	'4 台	歩行者導線	非分	分離	騒音	配慮	段	差の排除	排ガス配慮	無駄	浴ある駐車台数に 太な走行、駐車待 イドリングの排	ちア
3		出入	口数	道路種	別	道路幅員	予測来台	車台	交差点	点距離	住宅前出	入口	左折入庫	左折出庫		駐車待スペース	判定
	東	な	U	-		-	-			-	-		-	-		-	-
	西	な	J	-		-	-			-	-		-	-		-	-
駐	南	な	C	-		-	-			•	-		-	-		-	-
車	北	な	J	-		-	-			-	-		-	-		-	-
場	警	備員	の配	置 15	FE.	通して沿	昆雑する	時期	月の	み配	引備						

出入口は駐車場①と共用です。(駐車場①を通過して、スロープを上り駐車場③へ進入します。)

	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価				

③ 駐輪場の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗北側に1ヶ所
駐輪場の収容台数	92 台
標準収容台数	84 台

位置評価	台数評価

### ④ 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	160㎡	あり	15分	2台	6台	

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9:00~10:00	6台	15:00 ~ 16:00	11:00 ~ 12:00	無し	2台分	

- ⑤ 経路の設定等
- (1) 車両関係
- ア搬出入車両関係

-	7 332 7 1 1 3 1 3 3 1	1*	
ĺ	通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
ĺ	有り	有り	配備

- 2 生活環境悪化防止関係
- (1) 騒音発生に係る事項
- ① 騒音問題対応策
- ア 一般的対策

	13541. 27 3 514					
	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	5 m	無	搬入車両	2m	無	-
西方向	15 m	無	来客車両	無	無	-
南方向	50 m	無	来客車両	無	無	-
北方向	8 m	無	従業員車両	無	無	-

遮音壁の悪影響	特に無い	と考える
---------	------	------

評価	

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

1 101101日末泊到の融日	刈 朱
荷捌施設建築計画面での配慮	十分なスペースの確保による荷捌き時間の短縮
荷捌施設運営面での配慮	アイト <sup>*</sup> リンク <sup>*</sup> ストッフ
荷捌施設機器選択面での配慮	作業員の意識向上
放送設備使用面での配慮	屋外放送無し

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

	冷却塔、室外機からの騒音	上部開放のRC壁にて遮音
ĺ	給排気口からの騒音配慮	無し
ĺ	駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
	廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	十分なスペース確保による作業時間の短縮、アイドリング禁止、作業者に対する意識徹底

② 騒音の予測評価

		3 W/3 H   16								- 0 0		-
予	定常騒音	冷却塔	2	空調室外機	3	給排気口		変電施設	浄化槽	ポンプ	エンジン等	
測	<b>化</b> 市融日	冷凍室外機		冷凍機械室								
対	変動騒音	ゴミ収集作業	0	BGM		アナウンス						
象	<b>象  冬</b> 期六日	自動車走行	0	荷捌アイドリング	0	後進警報プザー	0					
騒	衝撃騒音	荷降し音		台車走行	0							
音												
建物	建物の構造(高さ) 鉄筋コンクリート造2階(一部3階)塔屋1階											

ア 等価騒音レベル予測

	ノー 寺   四周日 ロー・ソレー・次						
		予測地点1	予測地点2	予測地点3	予測地点4		
	用途地域	第1種住居地域	商業地域	商業地域	商業地域		
	昼間基準値	55 dB	60 dB	60 dB	60 dB		
	夜間基準値	45 dB	50 dB	50 dB	50 dB		
設	昼間等価騒音レベル	51.4 dB	52.9 dB	35.6 dB	40.4 dB		
以黑	評価	0	0	0	0		
置者	夜間等価騒音レベル	21.7 dB	23.4 dB	16.5 dB	12.2 dB		
111	評価	0	0	0	0		
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当		
木	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当		

イ 夜間における騒音ごとの予測 A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所図書館、特別養護老人ホームの有無 無 B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か

上記A·Bの具体的内容 -

	•	予測地点あ	予測地点い
	用途地域	第1種住居地域	商業地域
	基準値を5dB減ずる要因	なし	なし
	基準値	40dB	50dB
設	定常騒音の騒音レベル	21.7dB	23.4dB
置	評 価	0	0
者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	ı
1	評 価	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当
ᅏ	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	_	_

(2) 盛棄物関係

(4)	Ř
悪臭問題関係配慮	特になし
衛生問題関係配慮	特になし

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	12.50 m	1日	0.76 t	0.10 t/m³	7.57 m <sup>3</sup>	変更なし	
空缶・空き瓶	3.40 m <sup>3</sup>	1日	0.12 t	0.10 t/mឺ	1.17 m <sup>3</sup>	変更なし	
厨芥・その他	5.60 m <sup>3</sup>	1日	0.73 t	0.15 t/m³	4.84 m <sup>3</sup>	変更なし	
合計	21.5 m	_	ı	_	13.58 m <sup>3</sup>	_	
保管日数の設定権	退拠 現法	兄の調査に基	甚づく	-		-	
見かけ比重変更の理由 変更なし							
指針と異なる算定式	指針と異なる算定式の使用を更なし						

廃棄物排出量を減少させる要	因	廃棄物排出量を増加させる要	因
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	有
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	有
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	有
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	無

位	適正な分別の実施	分別廃棄を実施
置	搬出作業の利便性の確保	特になし
•	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控えます
構	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	有
造	生ゴミ保管施設の気密性の確保	有

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	(有)クリーンサービス知多(2310004139)
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	悪臭対策として汚水マスの洗浄を行う。

評価

市町村の意見概要	対応
意見なし	_
住民等の意見の概要	対応
意見なし	_
県の意見案	

県の意見案	
意見なし	